

# 第19回 富山県作業療法学会プログラム

テーマ 自律の再考  
～それぞれの歩みを支援するために～

日時 令和2年2月23日(日) 午前10時00分～午後4時00分

会場 砺波市文化会館  
〒939-1382 富山県砺波市花園町1-32 (TEL: 0763-33-5515)

主催 一般社団法人 富山県作業療法士会

学会長 高田 尚美 (市立砺波総合病院)

9:30 受付

9:50 開会式 【1階 多目的ホール】

開会宣言 運営委員長 水上 馨

開会の辞 学会長 高田 尚美

10:00～11:00 特別講演 【1階 多目的ホール】

『作業療法における自律と自立—その治療効果の判定方法について』

講師 安部 能成氏 (千葉県立保健医療大学 准教授 作業療法士)

11:00～12:00 パネルディスカッション 【1階 多目的ホール】

I. 急性期医療機関の立場より 死が差し迫る患者への自律支援とは?

講師 藤吉 健史氏 (市立砺波総合病院 理学療法士)

II. 精神科分野における「自律」の現状

講師 丸本 薫氏 (医療法人社団和敬会 谷野呉山病院)

III. 自律の再考

講師: 田村 茂氏 (地域リハビリ支援室タムラ)

12:15～13:00 技術講座 【1階 多目的ホール】

I. コグニサイズ

II. 100歳体操

III. ほっとあっとなんと体操

13:10～15:30 ・口述発表 I～III 【1階 多目的ホール】

・ポスター発表 I～II 【2階 研修室】

15:45 閉会式 【1階 多目的ホール】

閉会の辞 (一社) 富山県作業療法士会 会長 齋藤 洋平

## 一般演題 口述発表

### 1. 口述発表 I 13:10～13:50 1階 多目的ホール

座長：森 伊津子（厚生連高岡病院）

#### 1. 立位を中心とした作業療法により

体幹機能及び左半側空間無視の改善を認めた1症例

北野 香花（北陸中央病院）

#### 2. 回復期における脳卒中後の上肢麻痺に対して

ReoGO-J と Transfer Package を組み合わせた治療を実施した症例

田守 春香（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

#### 3. 自助箸を使用して食事が可能となった右片麻痺患者への介入例

－内在的フィードバックに着目して－

大谷 奈央（富山西リハビリテーション病院）

#### 4. 高位頸髄損傷により人工呼吸器管理・四肢麻痺を呈した症例に対する

早期 ADL の拡大を見据えた急性期作業療法の経験

竹田 はるか（市立砺波総合病院）

### 2. 口述発表 II 14:00～14:40 1階 多目的ホール

座長：山 美代子（独立行政法人国立病院機構 富山病院）

#### 5. 小規模精神科病院の作業療法士の医療安全への取り組み

衣笠 正（医療法人社団松風会 松岡病院）

#### 6. 作業参加の特徴に合わせた介入を行うことで

主体的に活動に向かえるようになった症例

－短縮版小児作業プロフィール（SCOPE）を用いた支援－

小林 駿介（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

#### 7. 覚醒リズムの乱れにアプローチした事例

－母との協働による支援－

遠藤 若菜（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

#### 8. 環境調整や家族指導などの多職種連携を行い、自宅退院に至った重症心身障害児

塚田 奈菜（厚生連高岡病院）

### 3. 口述発表 III 14:50～15:30 1階 多目的ホール

座長：長井 拓也（医療法人社団紫蘭会 デイケア光ヶ丘）

#### 9. 療養病棟生活の質の向上を目指した1症例

－認知症高齢者の絵カード評価法を利用したニーズの把握－

大森 珠葵（公立南砺中央病院）

10. 重度右片麻痺・失語を呈した事例の妻・母親としての家庭内役割の獲得に向けて  
 ー幼い子供のために料理・洗濯の役割獲得を目指した事例ー  
 後藤 有香（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）
11. 通所型サービス A での介護予防に向けた取り組み  
 田口 豊浩（社会福祉法人 庄川福祉会 ケアポート庄川）
12. 当地域における介護予防事業と今後の課題  
 齋藤 洋平（南砺市民病院）

## 一般演題 ポスター発表

4. ポスター発表 I 13:10～13:50 2階 研修室  
 座長：稲田 繭子（介護老人保健施設 みしま野苑一穂）

1. シングルケースデザインを用いた作業療法の介入研究の効果基準を求めた研究  
 ーメタアナリシス分析ー  
 丁子 雄希（富山リハビリテーション医療福祉大学校）
2. 富山県作業療法士会 認知症作業療法委員会の取り組み  
 中山 真一（魚津緑ヶ丘病院）
3. 南砺市中山間地における訪問型サービス C 事業の実践  
 石崎 麻貴（南砺市訪問看護ステーション）
4. 生活をみつめる訪問作業療法での 1 事例 ーその人らしさを軸とした介入ー  
 長江 和彦（高志訪問看護ステーション）

5. ポスター発表 II 14:00～14:50 2階 研修室  
 座長：岡田 有由（富山西リハビリテーション病院）

5. Shared decision making を用いた目標設定により練習に主体的に取り組めた症例  
 ー役割としての調理活動の再開を目指してー  
 金田 遥（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）
6. 注意機能にアプローチを図ったことで談話障害の改善に繋がった一事例  
 山田 英里菜（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）
7. 狭い世界から広い世界へー意思伝達装置『伝の心』の導入  
 富田 萌（国立病院機構 富山病院）
8. 当院における院内デイケアの取り組み ー現状の紹介と今後の展望ー  
 野原 奈於（市立砺波総合病院）
9. 自動車運転再開に向け、ふくしサポートセンターと関わった一症例  
 前川 紋乃（金沢医科大学氷見市民病院）